

# 公益財団法人宮崎文化振興協会

## 令和2年度 定時評議員会議事録

1. 日 時 令和2年6月26日(金) 午前10時00分～午前12時00分
2. 場 所 宮崎市宮崎駅東1丁目2-7 宮崎市中央公民館 会議室
3. 出席者 評議員現在数 5名 定足数 3名  
評議員出席 石川千佳子 河野太郎 辻 利則  
外山與子 西田幸一郎  
以上5名  
(定款第17条第2項の規定による定足数を充足)  
理事出席 小泉英一 時任京子 以上2名  
監事出席 酒匂俊宏 野村修 以上2名  
同席者  
(公財)宮崎文化振興協会事務局 次長兼経営戦略課長 和田尚子他7名  
計 16名
4. 議案 第1号議案 平成31年度(令和元年度)事業報告について  
第2号議案 平成31年度(令和元年度)決算の承認について  
第3号議案 理事の選任について  
第4号議案 監事の選任について

### 5. 議長選任の経過

司会が開会を宣した。次に、定款17条第2項により会が有効に成立していることと、定款第20条第2項に基づき、出席した評議員と理事全員が議事録署名人になることを告げた。

続いて、議長については、定款第19条第4項により評議員で互選し、河野評議員が議長を務めることとなり、議長の進行により議案の審議に入った。

### 6. 議事の経過要領及びその結果

議長は、次の4議案について審議した。

(議案)

**第1号議案 平成31年度(令和元年度)事業報告について**

**第2号議案 平成31年度(令和元年度)決算の承認について**

議長の求めに応じて、第1号議案と第2号議案の説明が続けて行われた。

平成31年度(令和元年度)事業報告及び決算の承認について事務局から説明があり、続いて酒匂監事より、会計処理が適正であり、財務諸表等が協会の財産及び損益の状況について、適正に示していると認める旨の監査報告があった。

本議案に関連して次の質疑応答があった。

(石川評議員) 人員体制が2名減であることの理由をお聞きしたい。

(事務局) 2名減については、まず、大淀川学習館において臨時職員を2名減数し、その分、1名を契約職員に置き換えた。

さらに宮崎科学技術館において育児休業の代替職員(臨時職員)がいたが、平成31年に職員が復帰したので、臨時職員が1名減った。

(時任専務) 人材確保に苦勞している状況であるが、一方では産休、育休を取得できる環境を整えている。

(石川評議員) 指定管理が3年であることの理由をお聞きしたい。

(小泉理事長) 去年も指定管理の切り替えの時にいろいろご意見を頂いて3年ではなくもっと延びないかという要望もあった。実状では、2年目までに成果が出ないと3年目の10月に審査がある。その前の夏休み位には審査の原案を作成するので、実質2年しかない。できれば5年という期間を頂けると職員の気持ち(転職するか否か)が違うと見て取れる。3年だとモチベーションが下がることが、現状としてある。教育委員会にお話しすることになると思う。

(西田評議員) 処遇改善の具体案、職員のモチベーションについて聞きたい。

(事務局) 協会職員の給与等については平成29年に改定し、その後の改定はない状況であった。

具体的な改善については人事院勧告の給与表を参考に、協会職員給与表の級号給に上昇率を当てはめ、協会の給与のベースアップを図った。

1人当たり実額で平均1,700円位のベースアップができた。

昨年度、一時金の制度を創設した。公益財団法人の特殊性からその年度に黒字が出た分を次年度に持ち越したり資産として持ち越すことができない状況。その改善ということで、その年度に黒字が出た分を職員に還元できる仕組みがとれないか検討し、一時金の制度を創設した。

昨年度は契約職員と無期転換職員には一律2万5千円、その他の非常勤職員等には1万5千円支給。

(小泉理事長) 市の職員と比べて、給与レベルが約7割という現状。去年、ようやく前年度の人事院勧告分だけを反映することができた。3年間という不安定さもあり給与改定できなかつた。これから、改善の方向で市と話し合いを行っていく。

(河野評議員) 指定管理の期間はこれまでも3年だったのか。

(小泉理事長) 3年である。ただ非公募であり、昨年は公募であった。

(河野評議員) 資料7ページの入館者推移で佐土原歴史資料館が平成29年度から下がっているのは取り扱いが変わったから入館者が減っているということか。

(永井館長) 平成29年度から通常開館をやめ、佐土原歴史資料館では5月中旬から1か月、天ヶ城では3月中旬から4月中旬にかけてのみ毎日開館、その他の期間は土日祭日のみ開館。年間の開館日数の減により年間通しての入館者数も減っている。

天ヶ城が3月から4月にかけて毎日開館しているのは、桜の名所であり景観が良いので、花見のお客様が展望台まで上がってみえるということ。入館者が増える時期は、はずしていない。

(河野評議員) 大淀川学習館が平成30年度に入館者が増えているのは何か取り組みがあったのか。

(長岡館長) 平成30年度は特に新しい取り組みは行っていない。

人気のある「ザリガニ展」、「カブトムシ・クワガタムシ展」では、スタンプを押して賞品がもらえる等、企画展ごとにアイデアを出し、もっと来て頂こうという思いで努力し続けた結果であると考えている。

ただ、平成 31 年度はコロナウイルスの影響や空調工事を行ったため、前年度比で減となっている。

キャパシティーは安全面から言いうと手一杯と考えている。

(河野評議員) 科学技術館が平成 30 年度に入館者が減った原因はあるのか？

(重山課長) 平成 30 年度はプラネタリウムの機器の更新のため中止の期間が 3 ヶ月間あったことが影響している。

(小泉理事長) 平成 29 年度は 30 周年事業で宇宙飛行士を招き、入館者数が大きく伸びたこともある。

(辻評議員) 各施設はどのくらいのキャパシティーがあるのか。

(時任専務) 科学技術館は総面積を 4 m<sup>2</sup>で割ったとき、最大 900 名が収容人数。

プラネタリウムは 280 名が収容人数。(コロナウイルスによるイベント開催制限の段階的緩和の目安の) ステップ 2 の段階で 50 %の最大 140 名収容可能。

(小泉理事長) 経験値では、2 千人以上が入館すると多すぎる。瞬間的に千人でも多い感じ。平日の入館者が少なくてもトータルで 15 万人入館すれば、施設の能力を十分発揮していると言える。

大淀川学習館建設当時は入館者数が年間 10 万人の設計。実状は 1.6 倍から 1.7 倍の入館者がある。土日に 4 千人入館したことが過去にあったが、手一杯であった。

歴史資料館は今の数字が推移していけばよい。

(永井館長) 歴史資料館の最大収容人数は出ていない。共用スペース除けば、みやざき歴史文化館の全面積に対する常設展示室の割合は 25 %位で、観覧の際には余裕が必要な空間である。

全国的に見て、市町村立の歴史系の博物館や資料館は「入館者数 / 開館日数」が 100 人を上回れば成功であると言える。一時期は 6 万人を超える入館者数があり、企画展での入館者増であったと考えられる。

(長岡館長) 大淀川学習館は入館者増を目指すのではなく期間の変更や内容の質を変えるよう工夫している。

(田崎館長) 市民プラザは貸館を主にしている。利用者の年齢層は上がってきている。様々な芸術振興団体があるが、文化振興計画で若い世代へのアプローチということで、自主事業を進めている。

全国平均でも 8 割以上の稼働率である。30 万都市の 500 以上座席数があるところでは約 52 %、オルブライトホールでは約 80 %の稼働率である。順調に推移している。

(辻評議員) 来館者の年代層の実態が分かれば教えてください。

新しいターゲットを取り込むためにどのように考えているか。

(時任専務) 科学技術館は、市政 60 周年の記念事業で建てられた建物であり、30 年経っている。

21 世紀に生きる子供たちのために科学をする心と創造性を培ってほしいという願いでできた。現実的には小さな子供たちが宇宙や科学技術を身近なものとして遊びながら体験することが目的である。ターゲットは広く全般と考えている。

(重山課長) チャレンジサイエンスは中学生、プラネタリウムも中学生の入館がある。実態は、幼児、小学生が多い。

- (小泉理事長) プラネタリウム番組を若いカップルや大人向けのものに変更したり、アロマを焚く等の仕掛けもしている。
- (永井館長) 歴史資料館は資料の解説・説明は小学6年生が理解できる文章内容、漢字等を使用している。歴史を学習する小学6年生をターゲットにして、小学高学年等から中学生が理解できる解説をしている。イベント、体験的な物は親子、子供が主となる。講座はリタイアした方が中心になるということで二極化が進んでいる。展示物は老若男女が対象である。
- (長岡館長) 大淀川学習館は95%以上が幼稚園児、小学生以下である。
- (辻評議員) 参加者数、入館者数以外に評価の指標となるものがあると良い。アピールできる数字が他にあると良いと思った。
- (外山評議員) 大淀川学習館の25周年記念事業の特別講演会における人数を知りたい。
- (長岡館長) ジャポニカ学習帳の表紙の写真を撮っている昆虫写真家の講演会であり、昆虫好きの子供たちにとっては内容がとてもよかった。2F レクチャー室に100人規模の予定での企画だった。合計で90名参加した。ピンクのハナカマキリの擬態、虫の見せ方などのお話があった。質問も多かった。
- (外山評議員) 天ヶ城歴史民俗資料館における企画展示事業で(1)開館25周年企画展「谷村計介～地方から見た西南戦争～」は4月14日まで行い(2)写真展「思い出してたかおか」は中止となっている。コロナウイルスの第二波の時に人数は評価できないだろうと考えられる。人数ではなく「質の向上」への取り組みをお聞きしたい。
- (時任専務) 3つポイントがある。  
評価、実績の出し方が数だけではなく、質ということ。効果の内容、アピールの仕方を検討して実績を出したい。  
コロナウイルスに関しては、休館中もSNSを通じて情報の発信をした。コロナウイルスの第二波が来た場合、一斉休館ではなく、共生していく形で工夫をしながら開館を続けていく方針。消毒のあり方、換気の仕方、収容人数制限について、検討していくことを各館長と確認した。
- (重山課長) 館内にアンケート用紙を設置していること、イベントや各種教室が終了する際に、アンケート用紙を配付し、受講者に感想や講座への要望等の記入をお願いして事業等の改善に努めている点です。
- (石川評議員) 歴史資料館において高齢者への博福連携・回想法を意識した取り組みは、かなりやっていたのではないか。
- (永井館長) 主に天ヶ城を利用して、昔を思い出してもらい記憶を鮮明にってもらう取り組みをしている。宮崎市と高岡町の合併の時から、細々とやっていた。当時、回想法が有効か、手探りの状況だったが、その後、回想法は効果があるということで、続けている。大々的にやっていますとか、結果がこうでしたというのは今後の提示の仕方を考えたい。
- (小泉理事長) 細見クリニックの先生が中心となって、地域回想法全国サミットが昨年開催され宮崎歴史資料館からポスターセッションに参加した経緯がある。
- (辻評議員) FaceBook・YouTubeを教育委員会に映像を提供しているのか。FaceBookは見にくい(小学生は見れない)。インターネットを使って新しい見せ方を発見できた。例えば、魚が餌を食べる映像を作るのではなくライブで配信すると、それを子供たちが楽しみに見て、会いに行こうと思う。
- (時任専務) 市の教育委員会との連携については、コロナ関連のHPにリンクを張らせ

ていただいた。

ライブ配信へのご提案については、21日（日）に日食があつて宮崎市は悪天候のため見るができなかったが、夕方4時位から京都大学のダジックアースチームと連携してインスタグラムでライブ配信を行った。

技術的に不足するもの、機材が不足するものが明らかとなった。新しいものにチャレンジする試みであつた。引き続き色々やっていきたい。

（河野評議員） 小学校のギガスクールで学習端末をすべての子供たちに配布する流れがあるが、オンライン学習と連携することが可能になっていくのか。

（小泉理事長） 教育委員会の教育情報研修センターにコンテンツや情報提供は出来るようになると思う。

学習指導要領のどの部分にあたるのか等、教育委員会と十分な協議が必要である。

（西田評議員） オンラインで出来る部分はやっていきたい。

第1号議案は、報告事項であり審議を終えた。

第2号議案について、審議後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、満場一致で可決した。

### 第3号議案 理事の選任について

事務局から、理事全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了となるので、次期理事10名の選任について略歴をもとに説明があつた。1名ずつ審議のうえ、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、それぞれ満場一致で可決した。

（再任） 石本由美子 大館真晴 片野坂千鶴子 小泉英一  
時任京子 中山隆 増田俊男 溝邊由美子  
（新任） 迫田繁 日高智子

なお、任期は選任された日から令和4年度定時評議員会の終結の時まで。

### 第4号議案 監事の選任について

事務局から、監事全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了となるので、次期監事2名の選任について略歴をもとに説明があつた。1名ずつ審議のうえ、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、それぞれ満場一致で可決した。

（再任） 酒匂俊宏  
（新任） 児玉和弘

なお、任期は選任された日から、令和4年度定時評議員会の終結の時まで。

（その他）

#### 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館期間中の取組みについて

事務局より、休館期間中に新たな取組みとして行った動画配信等について説明があつた。

以上をもって議案の審議等を終了したので、午後12時00分に司会が閉会を宣し、解散した。

上議決を明確にするため、本議事録を作成する。  
なお、以上この議事録が正確であることを証するため、出席した評議員及び出席した理事は次のとおり署名する。

令和2年 6月26日

公益財団法人宮崎文化振興協会 令和2年度 定時評議員会

議長  
評議員

河野太郎

評議員

石川千佳子

評議員

辻 利則

評議員

外山 與子

評議員

西田 幸一郎

理事

小泉 英一

理事

時 任 京子